

<付録> 図表

2 子どもの健康・体力の現状と子どもを元気にするための取り組みの現状

2(1) 子どもの健康・体力の現状とその背景

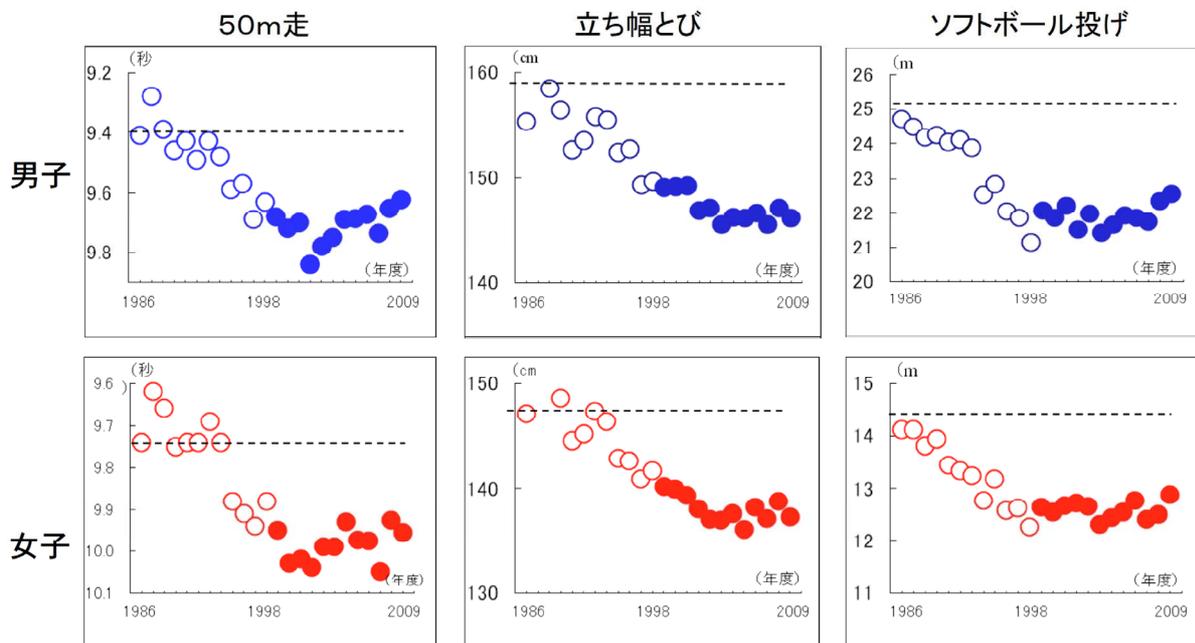


図1 小学4年生の走跳投に関する運動能力の推移

1986年から2009年の24年間の体力・運動能力テスト結果の年次推移を示している。●は、新体力テスト施行(1998年)以後のデータ、破線は1985年(昭和60年)の体力水準を示している。

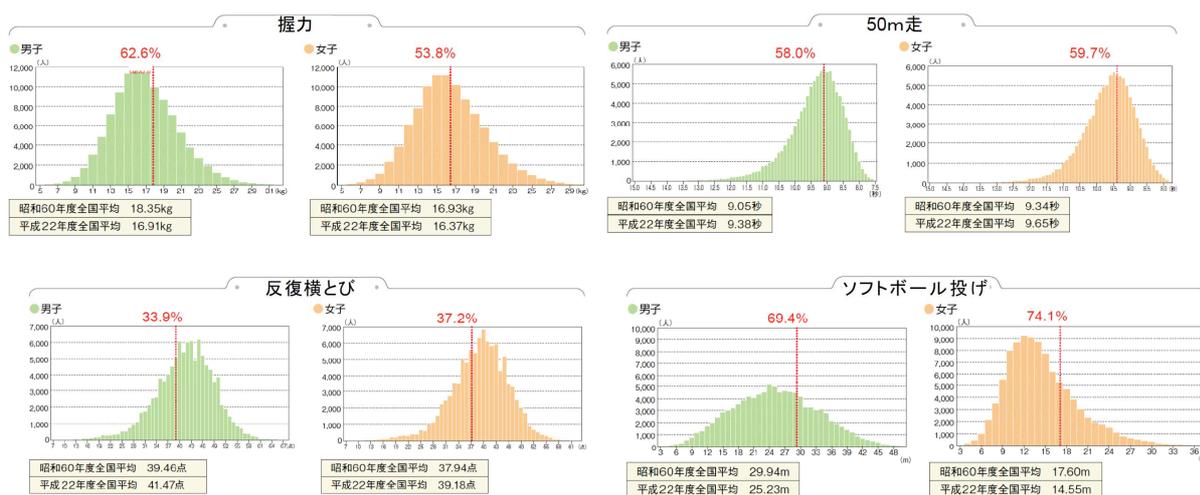
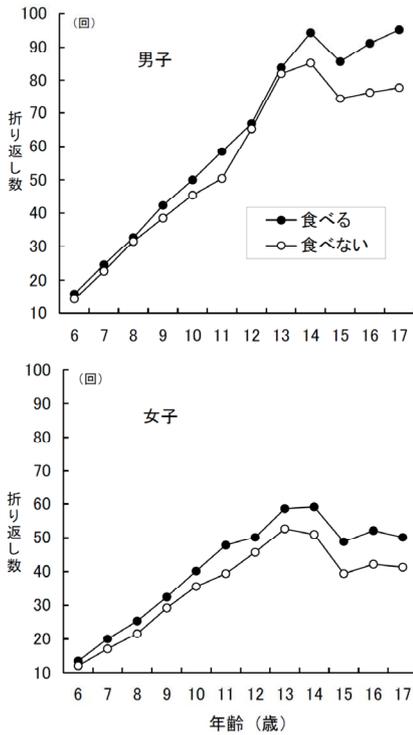
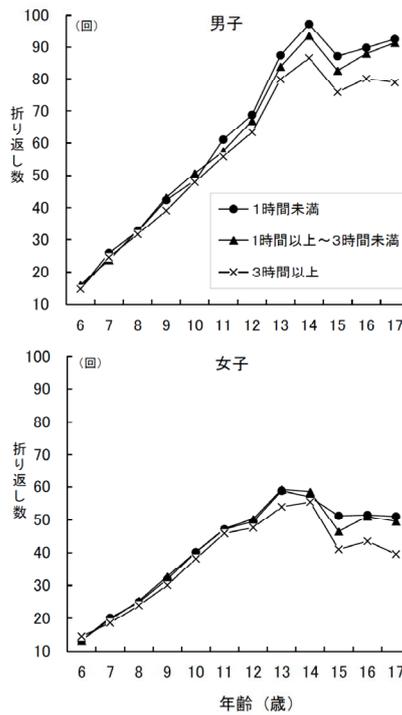


図2 昭和60年度水準の到達率(小学校5年生)

グラフ中の縦の点線は昭和60年度の平均値、グラフ中の%の数値は昭和60年度平均値を下回っている児童の割合を示している



朝食摂取状況別20mシャトルランの折り返し数



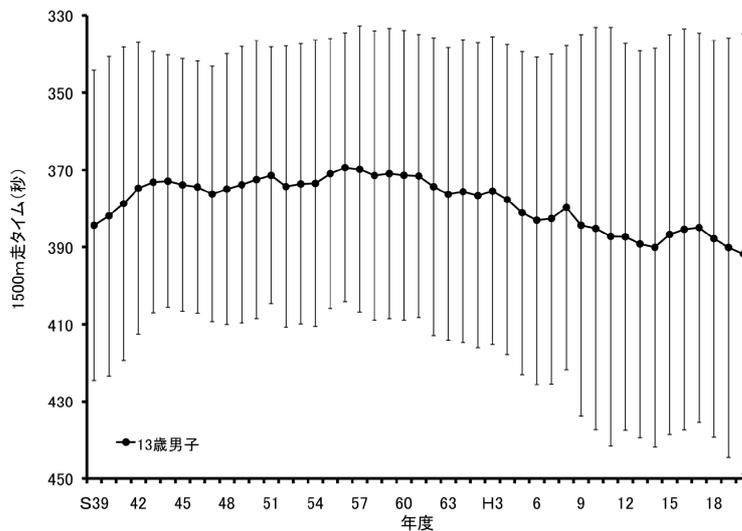
1日のテレビの視聴時間別20mシャトルランの折り返し数

### 図3 生活習慣と全身持久力

(文部科学省体力・運動能力調査報告書[4]のデータより作図)

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001067372>

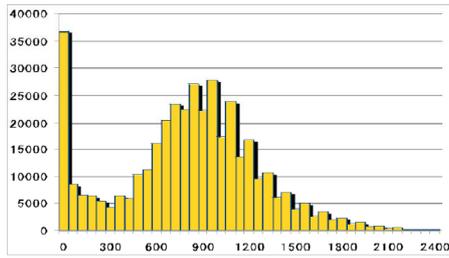
「食べる」とは朝食を「毎日食べる」、「食べない」とは朝食を「時々食べない」と「毎日食べない」を合わせたもの。「1時間以上～3時間未満」とは、テレビの視聴が「1時間以上2時間未満」と「2時間以上3時間未満」を合わせたもの。



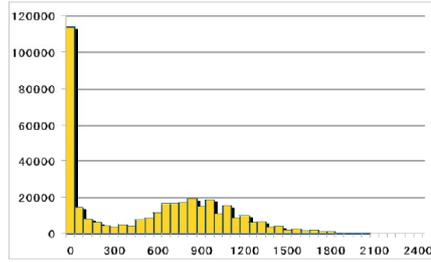
### 図4 持久走(1500m走)の経年変化

昭和39年から1500m走の記録(3年ごとの移動平均)を、平均値±標準偏差(SD)で表した。平均値が標準偏差の増加を伴いながら低下しているため、成績が上位(+1SD)の記録にはあまり大きな変化がみられないが、下位(-1SD)ではその低下が著しいことが伺える。

【中学校男子】



【中学校女子】



1週間の総運動時間と体力合計点の関連

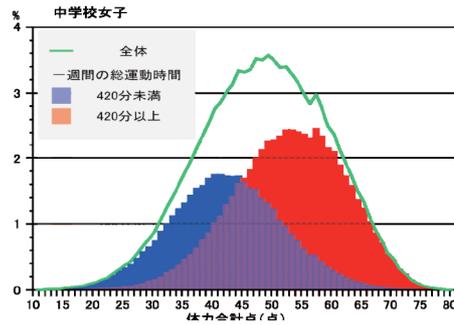
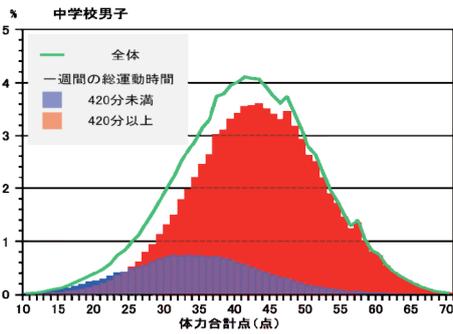
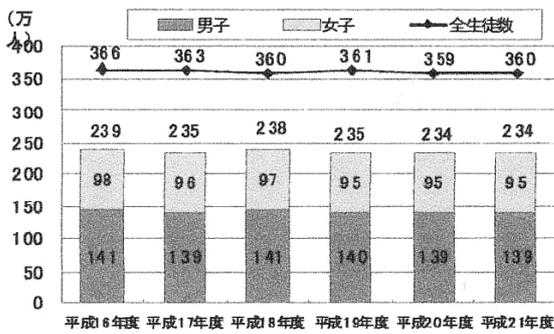


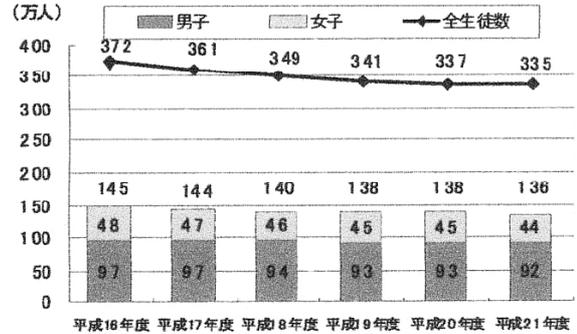
図5 中学2年生の1週間の総運動時間と体力

中学校における所属生徒数は減少しているが、所属率はほぼ横ばいで推移している。

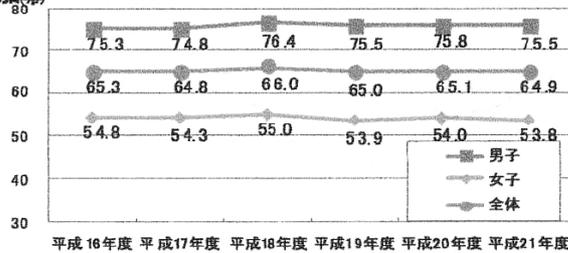
○中学校における運動部所属生徒数の推移



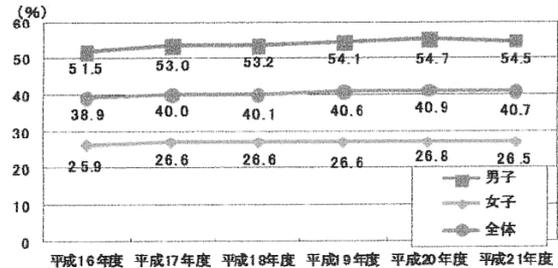
○高等学校における運動部所属生徒数の推移



○中学校における運動部活動の参加率



○高等学校における運動部活動の参加率



中学校：(財)日本中体連調べ(全国中学校体育大会種目のみを合計)

高等学校：(財)全国高体連及び(財)日本高野連調べ(インターハイ種目及び硬式野球・軟式野球を合計)

図6 運動部所属生徒数の推移

## 2 (2) 保育所・幼稚園における取り組み

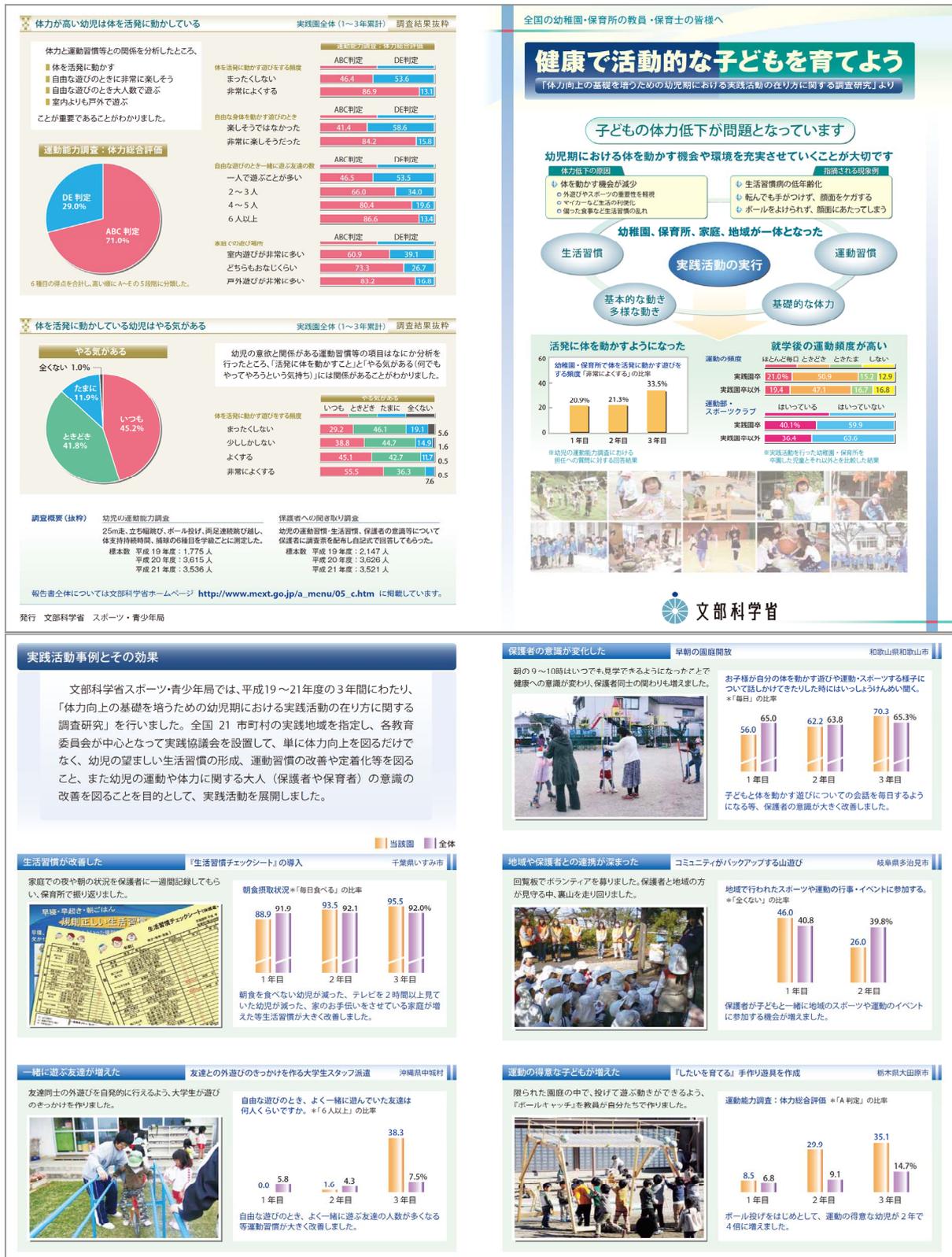


図7 文部科学省「体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究」報告書リーフレット

表1 幼稚園で保育時間内に指導されている運動（2002年調査）

運動種目	園数	%
体操	44	61.1%
水泳	32	44.4%
マット・跳び箱・鉄棒	29	40.3%
縄跳び	29	40.3%
サッカー	20	27.8%
散歩	19	26.4%
マラソン	17	23.6%
野外活動	12	16.7%
いろいろな運動遊び	8	11.1%
その他	18	25.0%

表2 保育時間内の運動指導者の属性

指導者	園数	%
外部派遣講師のみ	25	43.9%
クラス担任のみ	17	29.8%
園の体育専任のみ	10	17.5%
体育専任と外部派遣講師	2	3.5%
担任と外部派遣講師	1	1.8%
担任と体育専任	1	1.8%
担任と体育専任と外部派遣講師	1	1.8%

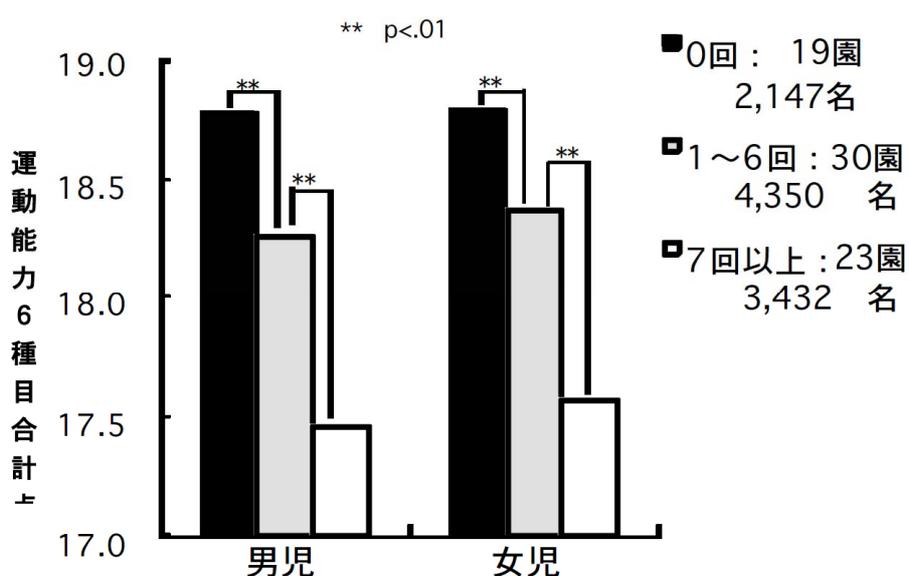


図8 幼稚園での運動指導頻度による運動能力の比較(2002年調査)

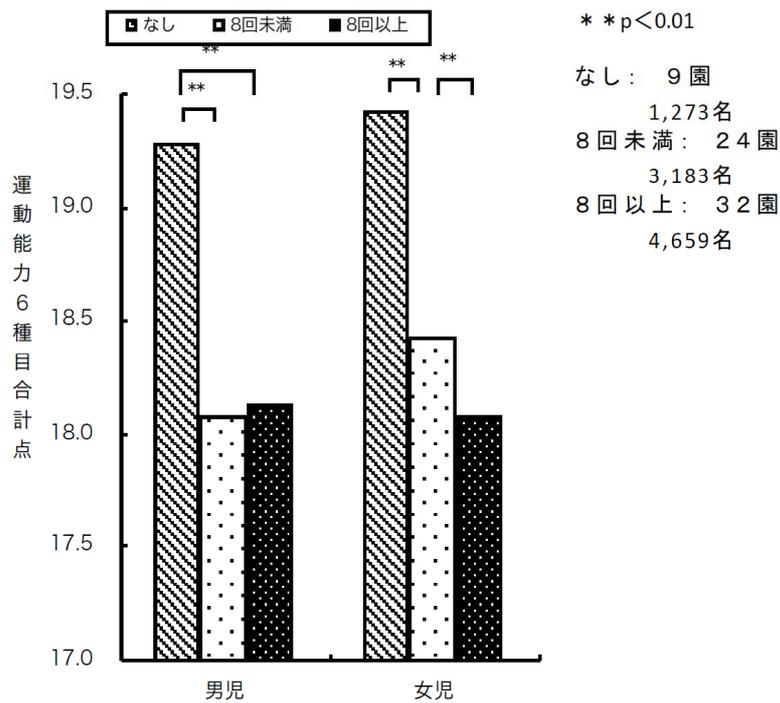


図9 幼稚園での運動指導頻度による運動能力の比較(2008年調査)

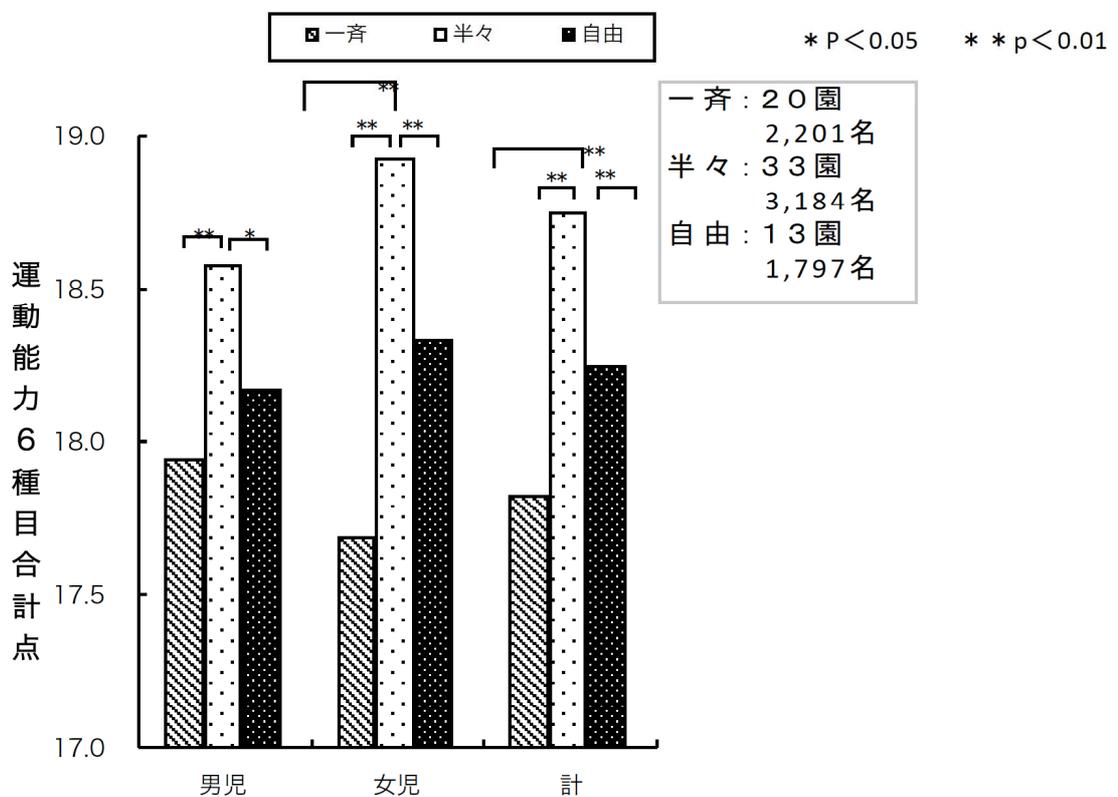


図10 幼稚園の保育形態別にみた運動能力の比較

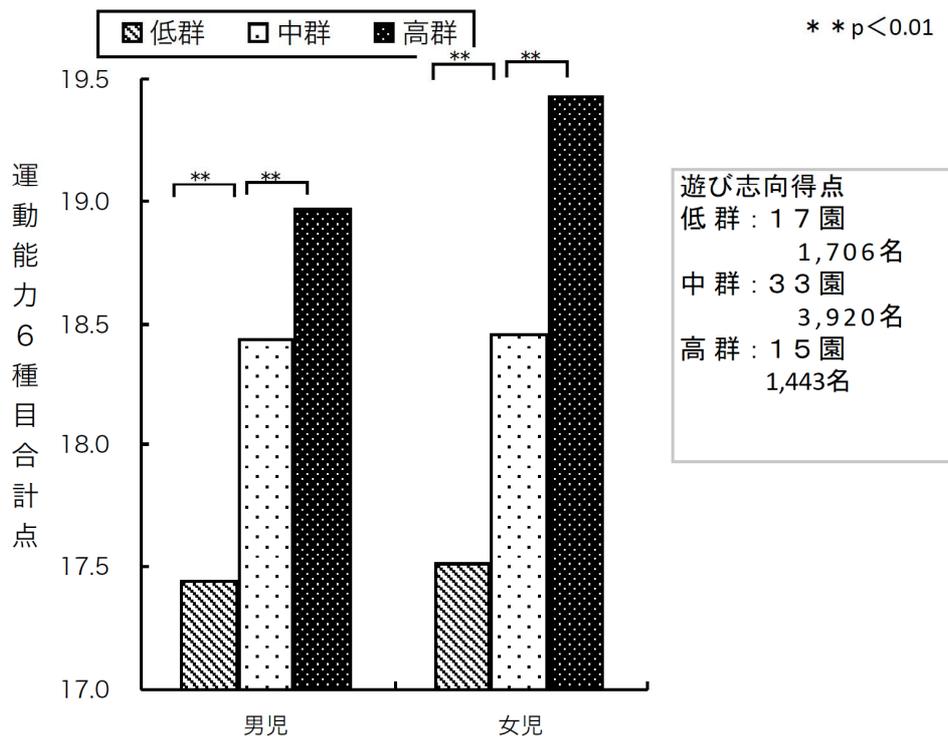


図11 遊び志向得点別にみた運動能力の比較

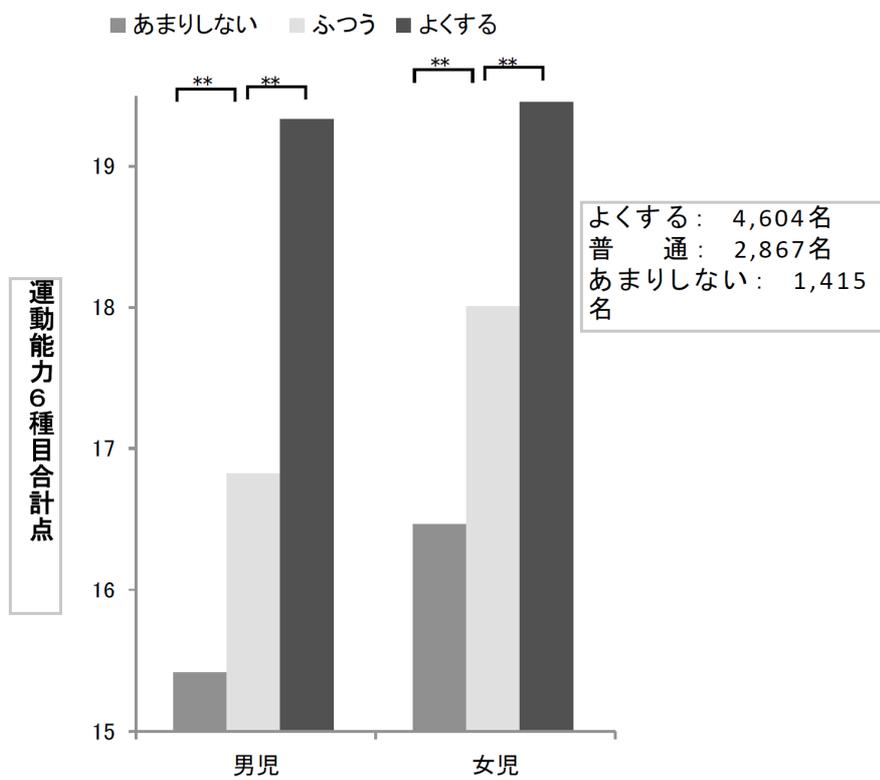


図12 自由遊びのとき運動遊びをする頻度と運動能力の関係

2 (3) 小学校・中学校・高等学校における取り組み

表3 学校体育の授業時数

・小学校・中学校の「体育」・「保健体育」の授業時数は、年間105時間(週あたり3時間)となった。  
 (小学校高学年を除く)  
 ・高等学校の「体育」の単位数は、年間2～3単位(週あたり2～3時間)

○体育・保健体育の標準授業時数(時間数)

学校	平成元年		平成10年(高校は平成11年)		平成20年(高校は未改訂)	
	総授業数	体育 保健体育	総授業数	体育 保健体育	総授業数	体育 保健体育
小学校	5,785	627	5,367	540	5,645	597
中学校	3,150	315～350	2,940	270	3,045	315
高等学校 ※総単位数	80	体育7～9 保健2	74	体育7～8 保健2	74	体育7～8 保健2

○標準授業時数(平成20年3月28日改訂)

学校	科目	学年		
		1・2学年	3・4学年	5・6学年
小学校	体育	1・2学年	3・4学年	5・6学年
	年間授業時数	105(1年は102)	105	90
中学校	保健体育	1学年	2学年	3学年
	総授業時数	105	105	105

2 (5) 民間団体における取り組み



図 13 日本体育協会による  
 子どもの運動ガイドライン  
 「アクティブチャイルド60  
 min」